令和8年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加 の可否	問 合 先
01	金融庁	一般社団法人電子決済等代行事業者協会	ウェブアクセシビリティ勉強会など（仮）	内容未定			○	
02	金融庁	（株）ゆうちょ銀行	障がい者アーティスト作品をデザインしたPE袋の配布	障がい者アーティストに作品発表の機会を提供することを目的に、障がい者アーティストの作品をデザインしたPE袋（環境に優しいバイオマス素材使用）を作成し、全国のゆうちょ銀行直営店で配布している。	令和8年10月～無くなり次第終了	（株）ゆうちょ銀行 直営店（全国）	○	株式会社ゆうちょ銀行 広報部 TEL：03-3477-0111（日本郵政グループ代表）
03	外務省	独立行政法人国際協力機構	ユニバーサルスポーツフェスティバル2026	ユニバーサルスポーツは、年齢、性別、障害の有無などに関係なく、すべての人々が平等に参加できるスポーツである。本フェスティバルでは参加者全員が様々な違いを超えて「ユニバーサルスポーツ」を楽しく体験することを通じ、インクルーシブな地域社会作りへ貢献する。（競技内容：風船バレー、卓球バレー、ボッチャ、カーレット）	2026年10月25日（日） 13時30分から16時30分	JICA東京　体育館	○	JICA 東京　市民参加協力第二課　USF 担当 tictpp2@jica.go.jp
04	外務省	独立行政法人国際協力機構	障害平等研修（DET）	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	①2026年6月18日（木） 13時00分から14時30分 ②2026年7月29日（水） 10時00分から12時00分 ③2026年9月17日（木） 17時00分から18時30分 ④2026年9月30日（水） 14時00分から16時00分	JICA本部（①、③及び④はオンライン）	×	独立行政法人国際協力機構　人間開発部　高等教育・社会保障グループ　社会保障チーム 03-5226-6660
05	財務省	日本たばこ産業株式会社	障がいへの理解醸成イベント	障がい理解、インクルージョンに寄与する参加型イベントを実施。	令和8年12月3日（木）～4日（金）	日本たばこ産業株式会社本社	×	日本たばこ産業株式会社 人事部 TEL:03-6636-2914

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加 の可否	問 合 先
06	文化庁	京都新聞（文化庁と共催）	「CONNECT⇄ ふれれば、はじまる」	アートを通して、多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクトである。12月の「障害者週間（3日～9日）」に合わせて、京都国立近代美術館など京都市岡崎公園内の文化施設において、様々な文化芸術プログラムを実施する。	令和8年12月3日（木）～12月13日（日）	京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都、京都市動物園、京都市勧業館みやこめっせ・京都伝統産業ミュージアム	○	①文化庁 参事官（伝統文化・生活文化担当）付 TEL：075-451-9571 MAIL：jigyou-soukatsu@mext.go.jp ②「CONNECT⇄ 」事務局 京都新聞COM 営業局営業部内 TEL：075-255-9757 FAX：075-255-9763 MAIL：connect-art@mb.kyoto-np.co.jp
07	文化庁	独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園	手話で楽しむ植物園	植物と、関連する手話について手話通訳付きで解説する。（協力・つくばバリアフリー学習会	2026年11月3日（火・祝） 13:30-15:00 申し込みは1か月前からホームページにて行う（事前予約制）	筑波実験植物園	○	筑波実験植物園 TEL：029-851-5159（代表）
08	文化庁	独立行政法人国立美術館　国立西洋美術館	美術館でクリスマス	「美術館でクリスマス」（令和8年11月25日（水）～12月25日（金））の期間中、常設展を活用し、小さなお子さまから障害のある方まで安心して参加いただける企画を開催する。 ①視覚に障害のある方と言葉を通して作品を鑑賞する「見えない、見えにくい人と楽しむゆっくりツアー」を開催する。 ②「ギャラリートーク」では計4回のうち1回を手話通訳付きで開催する。 ③「みんなのクリスマス・キャロル・コンサート」は会場の照明を明るいままに保ち、演奏中も出入りをしやすくする。車いす席やフリーエリア等を設ける。	令和8年11月25日（水）～12月25日（金） ①11月29日（日）9:30－11:00 ②12月19日（土）11:00～11:30 ③12月19日（土）15:00～15:40（小学生以上）、 12月20日（日）13:00－13:40 （0歳から参加可）	国立西洋美術館 ①②常設展ゾーン ③講堂	○	国立西洋美術館 ハローダイヤル（050-5541-8600）
09	文化庁	独立行政法人国立美術館　国立アートリサーチセンター	ミュージアム・アクセシビリティ研修	誰もがミュージアムで文化的な体験を楽しめる環境を目指し、「合理的配慮」や「情報保障」など、アクセシビリティに関する基礎知識を、実践事例とともにe-ラーニングで学びます。これからアクセシビリティに取り組む方、基本から学び直したい方をはじめ、ミュージアムのアクセシビリティに関心のあるすべての方にご参加いただけます。	募集期間 2026年9月7日（月）～10月15日（木） 受講期間 2026年11月4日（水）～2027年1月27日（水）	オンライン	○	独立行政法人国立美術館　国立アートリサーチセンター「ミュージアム・アクセシビリティ研修」担当 メールアドレス： fukafukatv.ncar@artmuseums.go.jp
10	文化庁	独立行政法人国立美術館　京都国立近代美術館	講演会「ジュエリーに託された夢：戦後日本のコンテンポラリージュエリーと世界への窓」	企画展「ジュエリーは、誰を夢みる」の関連イベントとして開催する講演会「ジュエリーに託された夢：戦後日本のコンテンポラリージュエリーと世界への窓」に、文字通訳を導入する。	令和8年11月7日（土） 14時～15時30分	京都国立近代美術館	○	京都国立近代美術館 TEL:075-761-4111

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加 の可否	問 合 先
11	文化庁	独立行政法人日本 芸術文化振興会 公益財団法人新国 立劇場運営財団	演劇「巨匠とマルガリータ」	視覚・聴覚に障害をお持ちの方向けの観劇サポートを提供する。 耳に障害のあるお客様へポータブル字幕機の貸出し、目に障害のあるお客様へ公演前の舞台説明会実施、リアルタイム音声ガイド放送等。（無料。チケット料金のみで利用可能	目に障害のあるお客様： 令和8年11月18日（水）13:00公演、 11月21日（土）13:00公演 耳に障害のあるお客様： 令和8年11月19日（木）18:00公演、 11月22日（日）13:00公演	東京都渋谷区 新国立劇場中劇場	○	公益財団法人新国立劇場運営財団 ボックスオフィス 耳に障害のあるお客様：インターネット またはFAX 目に障害のあるお客様：ボックスオ フィス電話 TEL:03-5352-9999 FAX:03-5352-5744
12	文化庁	独立行政法人日本 芸術文化振興会 公益財団法人新国 立劇場運営財団	演劇「ミノタウロスの皿」	視覚・聴覚に障害をお持ちの方向けの観劇サポートを提供する。 耳に障害のあるお客様へポータブル字幕機の貸出し、目に障害のあるお客様へ公演前の舞台説明会実施、リアルタイム音声ガイド放送等。（無料。チケット料金のみで利用可能	耳に障害のあるお客様： 令和8年12月20日（日）13:00公演、 12月25日（金）14:00公演	東京都渋谷区 新国立劇場小劇場	○	公益財団法人新国立劇場運営財団 ボックスオフィス 耳に障害のあるお客様：インターネット またはFAX 目に障害のあるお客様：ボックスオ フィス電話 TEL:03-5352-9999 FAX:03-5352-5744
13	文化庁	独立行政法人国立文化財機構東京国 立博物館	日本手話と日本語による東京国立博物館 紹介動画「時を旅する～東京国立博物館の ご案内～」公開	ろう者も聴者も楽しめる博物館を目指し、日本手話と日本語で博物館を紹介する動画を令和7年度に制作した。この動画のyoutubeでの公開、館内の常時上映を令和8年度も引き続き実施する。	通年公開	東京国立博物館 （東京都台東区上野公園13-9）	○	社会連携グループボランティアチーム TEL:03-3822-1111 MAIL:volunteer_tnm@nich.go.jp
14	文化庁	独立行政法人国立文化財機構東京国 立博物館	日本手話と日本語による東京国立博物館 紹介動画「はじめての東博」公開	日本手話と日本語で博物館の入館方法や楽しみ方、博物館の仕事を知っていただく動画を令和8年9月、手話の日に合わせ制作しyoutubeで公開した。この動画を引き続き公開する。	通年公開	東京国立博物館 （東京都台東区上野公園13-9）	○	社会連携グループボランティアチーム TEL:03-3822-1111 MAIL:volunteer_tnm@nich.go.jp
15	文化庁	独立行政法人国立文化財機構 奈良国立博物館	視覚に障害のある方のためのワークショッ プ「さわって楽しむ！仏教美術」	視覚に障害のある方とその同伴者を対象に、仏像の複製品を用いた触察や組立体験を通して、仏像に親しむワークショップである。体験に加えて、ボランティアガイドとともに展示室を巡り、対話を交えながら実際の仏像を鑑賞する。「さわる」ことを通して仏像への理解を深め、仏教美術に親しむ機会を提供する。	令和8年10月13日（火） ①10:00～12:00 ②14:00～16:00	奈良国立博物館 地下回廊 ならはく体験 スペース「ちえひろば」	○	奈良国立博物館 TEL：050-5542-8600（ハローダイヤル） FAX：0742-26-7218

NO.	省庁名（所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問合先
16	文化庁	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	衣装体験イベント「古代人に変身！」	弥生時代、古墳時代、平安時代初期の服を着る体験イベントを実施する。車いす用の衣装も準備する。	令和8年11月21日（土）	九州国立博物館	○	九州国立博物館　企画課教育普及 TEL：092-918-2851 FAX：092-918-2864 MAIL:edu@kyuhaku.jp
17	文化庁	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	オレンジひろばinきゅーはく	認知症当事者やその介護者、地域住民が集い、認知症や介護についての悩みを話したり、専門家に相談したりするイベント。当館の体験型展示室あじっぱを楽しむ時間もある。	令和8年11月13日（金）	九州国立博物館	○	九州国立博物館　企画課教育普及 TEL：092-918-2851 FAX：092-918-2864 MAIL:edu@kyuhaku.jp
18	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	国立特別支援教育総合研究所と福岡教育大学との連携協定締結記念講演会	本講演会は特別支援教育の推進を図り、インクルーシブ教育システムの構築と共生社会の実現をめざすことを目的に開催する。 基調講演では、特別支援教育の要となる自立活動の指導を中心に、中央教育審議会教育課程部会特別支援教育ワーキンググループの議論や学校教育現場の実情を踏まえながら、教室における自立活動の指導の質的向上を図るための課題について協議する。また、その実現に向けた国立特別支援教育総合研究所、福岡教育大学の取組について報告する。	令和8年10月25日（日） 13:00～16:00	福岡教育大学キャンパス内大講義棟大I教室	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課研究推進係 TEL:046-839-6897 MAIL:a-kenkyusuishin@nise.go.jp
19	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和8年度研究所公開	国立特別支援教育総合研究所（特総研）を一般開放する研究所公開を開催する。特総研の研究内容を紹介するほか、体験型の展示を通じて特別支援教育や障害への理解を深めていただくことができる。	令和8年11月21日（土） 10:00～15:30	国立特別支援教育総合研究所（神奈川県横須賀市野比）	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課広報係 TEL:046-839-6803 MAIL:a-koho@nise.go.jp
20	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和8年度　NISE西日本ブランチセミナー in 高知	本セミナーは、特別支援教育の推進を図り、インクルーシブ教育システムの構築と共生社会の実現を目指すことを目的に実施する。その中でも小・中・高等学校の「合理的配慮」と特別支援学校の「自立活動」についての分科会を設け、実践報告と協議を行う。	令和8年11月28日（土） 10:00～17:00	高知大学朝倉キャンパス（212教室,222教室,221教室）	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 西日本ブランチ広島オフィス MAIL:hiroshima-event@nise.go.jp

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加 の可否	問 合 先
21	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	第12回 広島大学・国立特別支援教育総合研究所ジョイントセミナー	米国、オーストラリア、東南アジア（予定）、日本の研究者・実践者を迎え、AIとデジタル改革をめぐる社会的・倫理的論点、コミュニケーションへのアクセスを保障する人間中心の支援技術、AI時代のインクルーシブ教育と教師の主体性、人間中心のテクノロジー設計、特別支援教育の学校現場におけるテクノロジー活用について多角的に検討する。	令和8年12月12日（土） 10:30～16:30	【対面】広島国際会議場（広島県広島市中区） ＊オンラインあり	○	広島大学ダイバーシティ＆インクルージョン推進機構 マネジメント部門 MAIL:d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp
22	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	言語班セミナー	言語障害教育研究班では、全国の「ことばの教室」をはじめとする言語障害教育の実践の充実に向けて、教育現場の先生方とともに、研究や情報発信に取り組んでいる。本年度は、浜田寿美男氏を講師に迎え、「『発達を問う』（仮）」をテーマとする言語班セミナーを開催する。子どもの「発達」をどのように捉えるのかについて改めて考え、日々の教育実践を見つめ直す機会とする。 対象：ことばの教室の担当者、保育・教育に関心のある先生方、保護者や支援者の方など	令和8年12月12日（土）	国立特別支援教育総合研究所（神奈川県横須賀市野比） ※オンラインあり	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 言語障害教育研究班 TEL:046-839-6803 MAIL:v-gengo-seminar@nise.go.jp
23	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和8年度第2回盲ろう教育実践セミナー	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろう幼児児童生徒の教育に関わる方や、盲ろう教育に関心のある方を対象に、「令和8年度 盲ろう教育実践セミナー」を開催する。盲ろう教育の基礎・基本から具体的な指導実践まで、教育現場で役立つ内容をオンラインで学べる。 対象：盲ろう児を担当する、あるいは盲ろう教育に関心のある教職員、保護者や支援者等	令和8年12月25日（金） 14：00～16：00	オンライン	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 盲ろうプロジェクト　盲ろう教育実践セミナー担当 TEL:046-839-6803 MAIL:v-db-seminar@nise.go.jp
24	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和8年度発達障害教育基礎セミナー	発達障害教育推進センターでは、通常の学級における発達障害教育の現状と課題を把握するとともに、ウェブを活用した情報提供等に向けた取組を行っている。 その一環としてオンデマンド配信によるセミナーを開催し、通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒の学びの充実について、本研究所の重点課題研究の成果をふまえながら提案し、その内容について常葉大学特任教授、笹森洋樹氏との対談を行う。	令和8年7月17日（金）～ 令和9年1月11日（月） 申込期間：令和8年11月27日（金）まで	オンデマンド配信	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター セミナー担当 TEL:046-839-6803 MAIL:v-r8-seminar@nise.go.jp
25	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	障害者差別解消法に関する理解・啓発セミナー（基礎編）	令和6年4月の「改正障害者差別解消法」施行に伴い、民間事業者へも合理的配慮の提供が法的義務となった。本セミナーは、高等教育機関全体で同法の合理的配慮の提供について理解を深め、障害学生・生徒支援と体制整備の充実を図ることを目的とする。 本セミナーの基礎編は、障害者差別解消法に関する基本的事項について学ぶ内容となっており、高等教育機関（国公私立大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程））の全教職員及び役員を対象としている。具体的には、用語解説と紛争の防止・解決等の事例に関する解説を交えた各10分程度の動画配信で、学内の教職員向け研修などでも、活用できる内容となっている。 令和8年度に「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第三次まとめ）」（文部科学省）を踏まえた内容にリニューアルした。	配信開始： 令和8年6月1日（月）～ （配信終了時期未定）	オンライン（オンデマンド配信）	○	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援計画係 TEL：03-5520-6173 FAX：03-5520-6051 MAIL:tokubetsushien@jasso.go.jp

NO.	省庁名（所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問合先
26	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	令和8年度障害者差別解消法に関する理解・啓発セミナー（実践編）	令和6年4月の「改正障害者差別解消法」施行に伴い、民間事業者へも合理的配慮の提供が法的義務となった。本セミナーは、高等教育機関全体で同法の合理的配慮の提供について理解を深め、障害学生・生徒支援と体制整備の充実を図ることを目的とする。 本セミナーの実践編は、基礎編の内容を前提として、専修学校（専門課程）、大学、短期大学、高等専門学校のすべての教職員及び役員を対象として、演習事例に関するグループディスカッションを中心とした対面でのセミナー（定員60名程度）を実施する。	令和8年10月20日（火）	アクロス福岡　国際会議場 （福岡県福岡市中央区天神1-1-1）	×	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援計画係 TEL：03-5520-6173 FAX：03-5520-6051 MAIL:tokubetsushien@jasso.go.jp
27	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	令和8年度障害学生支援実務者育成研修会（基礎プログラム）の事前学習動画	高等教育機関における障害学生支援の基本的な知識を得ることを目的として実施した、本研修会基礎プログラムの受講者が事前学習として視聴した動画教材をオンデマンド配信する。 障害者差別解消法や合理的配慮、支援体制等について学習できる内容であり、学内の教職員向け研修などでも活用できるものとなっている。	配信期間： 令和8年8月26日（水）～11月26日（木）	オンライン（オンデマンド配信）	○	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援事業係 TEL：03-5520-6174 FAX：03-5520-6051 MAIL:kyoshoku2@jasso.go.jp
28	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	令和8年度障害学生支援実務者育成研修会（応用プログラム）	本研修会は、高等教育機関における障害学生支援について、支援ニーズに応じた支援方法の調整、具体的な支援計画の策定、関係者との連携を行うために必要な専門的知識の習得等を目的とする。 対象は、大学、短期大学、高等専門学校において障害学生支援の実務に従事している教職員とし、高等教育機関における障害学生支援の事例等に関する実践的演習を中心とした対面での研修会（定員70名程度）を実施する。	令和8年11月10日（火）、11日（水）	大手町ファーストスクエアカンファレンス （東京都千代田区大手町1-5-1）	×	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援事業係 TEL：03-5520-6174 FAX：03-5520-6051 MAIL:kyoshoku2@jasso.go.jp
29	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	障害学生支援に関する専門テーマ別セミナー（令和7年度収録動画再配信）	本セミナーは、障害学生支援における専門的なテーマに焦点を当て、修学支援体制の充実・強化を図ることを目的に実施している。 令和8年7月24日（金）より、令和7年度に収録し配信した動画（共催：宮城教育大学）の再配信を行っている。 テーマ「しょうがい学生の教育実習 ～宮城教育大学の事例から～」	再配信期間： 令和8年7月24日（金）～令和9年3月31日（水）	オンライン（オンデマンド配信・登録制）	×	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援計画係 TEL：03-5520-6173 FAX：03-5520-6051 MAIL:tokubetsushien@jasso.go.jp
30	文部科学省	NPO法人ピープルデザイン研究所	「超福祉の学校」@SHIBUYA2026	従来型の福祉とは一線を画す “超福祉”な学び舎― 学びに困難を抱える方々の実践やアプローチが、誰もが学ぶことができる未来のモデルとなる。「超福祉の学校@SHIBUYA」はその視点から、日本のみならず世界各地の学びの最先端事例を渋谷から発信するイベント。 今年もシンポジウムに加えて、展示体験も併催。シンポジウムは4日間で18本を開催し、福祉や教育の枠を飛び越えて多種多様なゲストが登壇。その様子はライブやアーカイブでも配信する。展示体験「超福祉の図書館」は6日間の開催。公園・図書館・美術館・博物館を混在させた、誰もが肩を並べて遊びながら学べる”インクルーシブな室内型公共空間”がテーマ。この空間ではニューロダイバーシティ（脳の多様性）と、感覚（センサリー）を意識しながら、五感で楽しめるコンテンツを集める。どちらも参加費は無料。事前申込も不要。	令和8年11月26日（木）～12月1日（火） ①11月26日（木）～29日（日） 11:00-20:30（最終日29日（日）は18:00で終了） ②11月26日（木）～12月1日（火） 11:00-20:00（最終日12月1日（火）は18:00で終了）	①シンポジウム：渋谷ヒカリエ8F 08/COURT ②展示・体験：渋谷ヒカリエ8F 08/CUBE	○	文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 障害者学習支援推進室 TEL:03-6734-3613 Mail:sst@mext.go.jp NPO法人ピープルデザイン研究所 TEL:03-4400-6774 Mail:contact@peopledesign.or.jp

NO.	省庁名（所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問合先
31	厚生労働省	公益財団法人テクノエイド協会	障害者自立支援機器「ニーズ・シーズマッチング交流会2026」	障害者及び障害児（以下「障害者」）の活動や参加を促すものとして、極めて重要な役割を果たす障害者自立支援機器「（以下「支援機器」）」について、真に必要とされる支援機器を開発するため、試作機等を用いた意見交換やモニター評価等を行う機会を創出することする等、開発の早い段階から障害者や支援者の「ニーズ」と、企業や研究者等の「シーズ（技術）」をマッチングをはかることを目的とした交流会である。	①東京会場 令和8年12月17日（木）～18日（金） ②web開催 令和8年10月1日（木）～令和9年1月31日（日）	東京都立産業貿易センター台東館（5・6階展示室）	○	公益財団法人テクノエイド協会企画部 TEL：03-3266-6883 FAX：03-3266-6885 mail：shogai-kiki2@techno-aids.or.jp
32	経済産業省	一般社団法人日本スイミングクラブ協会	グリコチャレンジスイム2026　第16回JSCA全国知的障害者水泳競技大会	知的障害者スポーツの振興・普及活動、及び知的障害者の水泳競技における練習成果発表の場の提供を目的とし、水泳競技大会を開催	令和8年11月22日（日）	福岡県福岡市/福岡市立総合西市民プール	○	一般社団法人日本スイミングクラブ協会　事務局 TEL：03-6381-0750 FAX：03-6381-0752 MAIL：jsca@sc-net.or.jp
33	経済産業省	一般社団法人日本スイミングクラブ協会	障害者水泳指導者研修会 テーマ：初級・中級レベル知的障害者選手への水泳指導について	知的障害者スポーツの振興・普及活動、及び知的障害者への水泳指導力の向上を目的とし、研修会を開催	令和9年1月24日（日）	愛知県岡崎市／岡崎竜城スイミングクラブ南校	○	一般社団法人日本スイミングクラブ協会　事務局 TEL：03-6381-0750 FAX：03-6381-0752 MAIL：jsca@sc-net.or.jp